



がっこうとしょうかん 学校図書館だより

おおいそしょうがっこうとしょうかん れいわ ねん がつごう
大磯小学校図書館 令和8年7月号



気温が高い日が多くなってきました。もうすぐ1学期が終わり、夏休みです。長い夏休み、おまつりや花火大会などのイベントもたくさんありますが、暑さが厳しい日は、涼しい場所で読書はいかがですか？

学校図書館からのお願い

7月15日(水)から蔵書点検(本が正しい場所にあるか、こわれている本がないか、なくなっている本がないかを1点ずつ確認する作業)を行います。授業以外で中に入ることはできません。ご協力をお願いします。

もしも、夏休みの間に、おうちで学校図書館のバーコードがついている本がみつかったら、2学期にもってきてください。



1学期の貸し出しについて

1学期の貸し出しは、7月3日(金)までです。借りている本は10日(金)までに返却してください。夏休みに入る前に、かならず返しましょう。

※10日をすぎるとお手紙がときます。

今月のテーマ「戦争と平和」「海」

終戦から81年

1945年8月6日、広島に原爆が落とされました。8月9日には長崎にも原爆が落とされました。放射線の影響とみられる症状に今も苦しむ被爆者もいます。世界中で戦争が行われてきましたが、原爆のおそろしさを知るのは日本だけです。今後原爆を経験した人たちがいなくなることをみすえ、人口知能(AI)を使って被爆者の証言を伝える装置をつくる取り組みが各地ですめられています。夏休み、平和について、あらためて考えてみましょう。

戦争・平和の本

子ども戦争と平和 (小原雅博/監修 カンゼン)
いわたくんちのおばあちゃん (天野夏美/作 主婦の友社)
1945年8月15分、わたしは (いわさきちひろ/絵 童心社)
焼けあとのおにぎり (うるしばらどもよし/作 国土社)

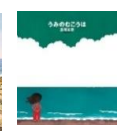


7月第3月曜日は「海の日」

海の日、海に「ありがとう」という感謝の気持ちを伝え、海にかこまれている日本がより豊かになりますように、とお願いする日です。昔から人は魚や貝、かに、えび、わかめなど、海のいろいろな物を食べています。他にも、海を通じて、海外から船にのっているいろいろな物が届いたり、日本から送ったりもしています。海はわたしたちの生活とは切り離せない、大切なものなのです。

海の本

海の科学大図鑑 (DK社/編集 河出書房新社)
海ガラスの夏 (ミシェル・ハウツ/文 BL出版)
うみのむこうは (五味太郎/作 絵本館)
うみのそこだんけん (中川ひろたか/文 アリス館)



新しい本がとどきました！

「たれてる」

(すずき のりたけ/作 ポプラ社)



おいしそうなドーナツ。ここにチョコソースをかけたらもっとおいしそう。どのくらいかけるかな？はんぶん？ぜんぶ？

「ずかん 自転車」

(もりしにあきひろ/著 技術評論社)



ありそうでなかった自転車の図鑑。のりものコーナーに電車やバス、飛行機、船はあるけれど、「自転車の本も見たい！」とリクエストがありました。身近な自転車の新しい発見があるかもしれません。

「世界一まぎらわしい動物図鑑」

(いまいみだ あき/監修 小学館)



ハムスターとモルモット。モモンガとむささび、など、見た目や行動はにているのにまったく別のいきものたちを集めた図鑑です。進化のふしぎなお話のほか、写真クイズも楽しめます。

「おかしのヒミツ研究所」

:科学でわかるおいしさのナゾ

(3時のおやつ科学機構/著 えほんの杜)



あのおかしの味はどんな調味料がはいっているんだろう？あの食感はどうやって作られているのかな？みんなが知っているおかしのふしぎを科学的な面からときあかしてみよう！

「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった」

(岸田奈美/著 小学館)



ある日とつぜんお父さんが亡くなり、車いす生活のお母さんと、生まれつき障害をもつ弟と過ごす作者の日常は、「楽しい」とか「悲しい」とかだけではあらわすことができないものでした。

「それ犯罪かもしれない図鑑」

(小島洋祐/監修 小豆だるま/絵 金の星社)



ほんの少しのいたずら心や、ちょっとした冒険心でやったことが、実は犯罪とよばれる行為かもしれません。これまでの自分の行動で悪いあたること、ありませんか？

花火のおはなし

日本の花火はすばらしく、その技術は世界一といわれています。夏の夜の花火大会で、夜空をみあげ、打ち上げ花火に感動したことがある人はいませんか。

花火は江戸時代に武家や町民の間に広まり、隅田川での川びらきをはじめ、日本の各地で豊作や飢饉の厄払いなどの祈願やお祭りのときに打ち上げられてきました。海外で花火をあげるのは、国の記念日や新築祝いのときなどで、行事をひきたてる道具です。これに対し、日本では「花火大会」というかたちで、花火が主役。今では、遊園地やライブなど、一年中楽しめるようになりました。



参考資料: 子どもに伝えたい
和の技術「花火」

鏡山瑛一/監修 すばる舎

2学期の貸し出しは、9/7(月)からはじまります。よい夏休みを！

